

統合科目

生理学・口腔生理学

《担当者名》 歯学部教授 / 石井 久淑 歯学部講師 / 佐藤 寿哉

【概要】

歯科医学に特に関連性が深く、重要な生理機能について復習して理解を深める。

【学修目標】

人体を構成する9つのシステム（神経、感覚、運動、循環、呼吸、消化、排泄、内分泌及び生殖系）の役割とそれらの調節の仕組みを説明できる。

口腔機能（咀嚼、嚥下、嘔吐、発声と言語形成、口腔感覚及び唾液分泌）の特色とそれらの調節の仕組みを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 3	生理学総括	人体を構成する9つのシステム（神経、感覚、運動、循環、呼吸、消化、排泄、内分泌及び生殖系）の役割とそれらの協調的な相互作用について学ぶ。	石井 久淑 佐藤 寿哉
4) 6	口腔生理学総括	顎・顔面・口腔領域の生理機能、特に口腔機能（咀嚼、口腔感覚及び唾液分泌）の特色とそれらの調節の仕組みについて学ぶ。	石井 久淑 佐藤 寿哉

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験（100％）

試験終了後、試験問題の解説を行う。

【教科書】

「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（最新歯科衛生士教本）」医歯薬出版

【学修の準備】

予習は、教科書および講義資料を読んで、専門用語等を理解しておくこと（60分）。

復習は、教科書および講義資料を活用して、理解を深めること（60分）。

【実務経験】

石井 久淑（歯科医師）、佐藤 寿哉（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験のある歯科医師が、基礎科目と臨床科目との関連性を明確化した授業を行う。